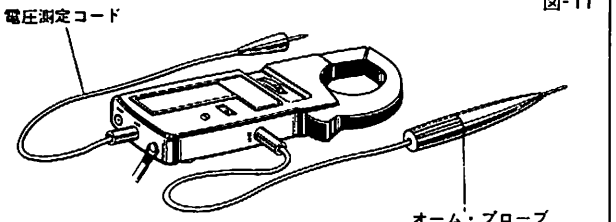
〔注意〕抵抗を測定する前に必ず被測定回路に電圧がかかっていない事を確認してください。電圧が誤ってかかった際にメータの損傷を防ぐためオーム・プローブ内にヒューズが取り付けてあります。

1. 電圧測定コードの赤・黒いずれか一方をＣＯＭ端子に挿入してネジ込み、固定してください。側面のＯＨＭ端子にオーム・プローブをネジ込みます。〔図－11〕

図-11



2. 「レンジ切換つまみ」でスケール窓に150Ｖのスケールを出してください。
3. 無限大位置の調整
電圧測定コードとオーム・プローブをオープンにした時指針は抵抗計スケールの“∞”を指示いたします。必要ならば指針の零調ネジを使用してください。〔図－12〕
4. ゼロ位置調整
電圧測定コードとオーム・プローブをショートさせ〔図－13〕、本器右側面のオーム零調整つまみを回して抵抗スケールの“０”に指針を合わせます。

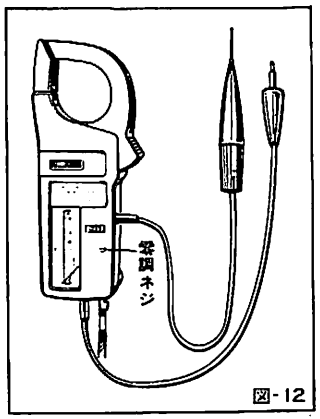


図-12

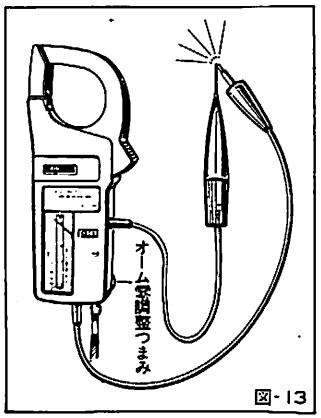


図-13

〔注意〕オーム零調整つまみを回しても指針がゼロ位置まで振れない時にはオーム・プローブに内蔵されている電池を交換してください。

5. 測定は図－14のようにオーム・プローブと電圧測定コードの一本を使用してください。
6. 抵抗計スケールの読み方
抵抗計のスケールはスケール窓左側に表示されています。ゼロ記号はスケールの一番上にあり、一番下には無限大の記号“∞”があります。
7. 電池及びヒューズの交換方法
オーム・プローブの構造はネジ込式になっていますので時計方向の逆に回すと〔図－15〕のように取り外せます。電池はＳＵＭ-3をお使いください。

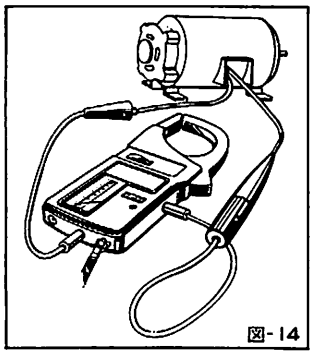
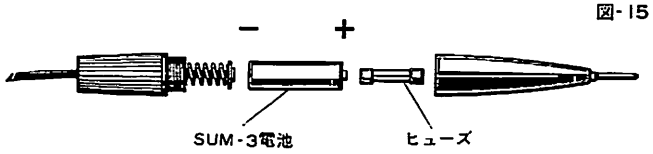


図-14

図-15



〔注意〕ヒューズの規格：0.5Ａ、消弧剤入り
ヒューズの交換の際は代理店にてお求めください。

●修理について●

下記のいずれかに、ショック等で本体が破損しない様、充分な梱包を施して、ご送付ください。

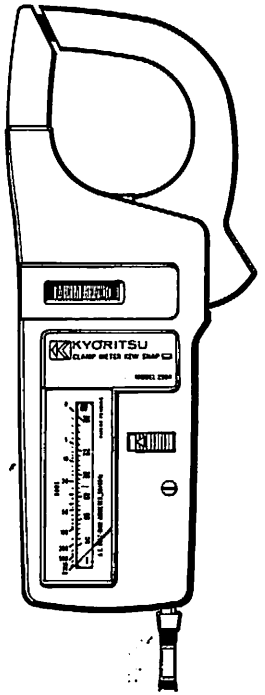
●〒152 東京都目黒区中根２－５－20　共立電気計器㈱
第一営業部
電話03(723)0131(大代表)・03(723)7021～2(直通)
テレックス　246－6703

● 代理店 ●

共立電気計器株式会社
〒152 東京都目黒区中根２－５－20
電話03（723）０１３１・テレックス 246－６７０３
工場/東京・埼玉・宇和島・愛媛（ＪＩＳ表示認可工場）

取扱説明書

50Hz/60Hz 共通

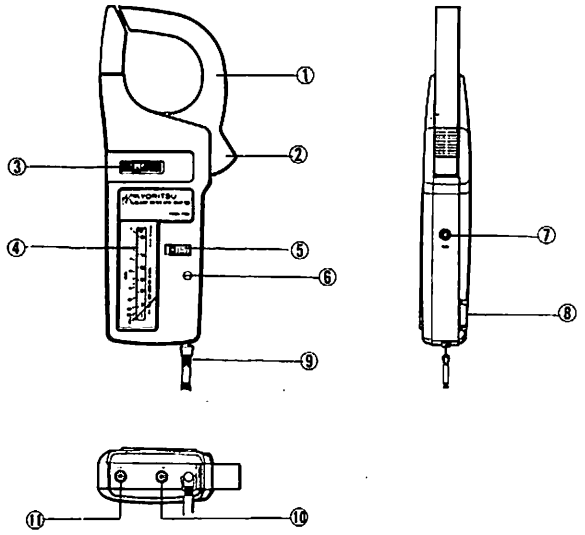


交流電流・電圧・抵抗測定器

キューズナップ9
MODEL 2904

世界120数ヵ国に広く市場をもつ共立は、永年の豊富な経験と実績に基ずき世界各国のニーズをここに結集しました。
使用性・信頼性は勿論のこと、より高い安全性への世界的転換傾向のなかで、〝万が一の操作ミスによってでも人体に危険を及ぼさない〟をモットーに、特に安全性には充分留意した設計です。

各部の名称



①トランスコア　②トリガ　③レンジ切換つまみ　④スケール窓
⑤指針止め装置　⑥零調ネジ　⑦ＯＨＭ端子　⑧オーム零調整つまみ　⑨落下防止バンド　⑩ＣＯＭ端子　⑪ＶＯＬＴ端子

仕　様

▶標準測定範囲
交流電流〔5レンジ〕　10/30/100/300/900Ａ
交流電圧〔3レンジ〕　150/300/750Ｖ
抵　抗〔1レンジ〕　2ＫΩ（中央値25Ω）
▶精　度
交流電流／交流電圧　最大目盛値の±3％以下
抵　抗　目盛長の±3％以下
▶絶縁耐力　ＡＣ 2,500Ｖ/1分間
▶外形寸法　227×73×33㎜
▶重　量　約460ｇ
▶被測定導体径　最大φ 52㎜
▶周波数　50Hz/60Hz共通
▶付属品　電圧測定コード
抵抗測定オームプローブ
(0.5Ａ消弧剤入ヒューズ・ＳＵＭ-3電池内蔵)
携帯用ケース・取扱い説明書

電流測定法　全レンジ黒文字黒スケール

〔注意〕電流または電圧を測定する前にオーム・プローブが、本器に取り付けられていないことを確めてください。オーム・プローブは5ページの説明のように本テスタを抵抗計として使用する場合にのみ取り付けてください。

1. 「指針止め装置」を右に動かして指針が自由に振れる状態にしてください。〔図－1〕
2. 「レンジ切換つまみ」を回転させて電流の最高レンジ、即ち900Ａをスケール窓に出してください。〔図－2〕
3. 本器右側面に突出している「トリガ」を押して「トランスコア」を開いてください。
4. 導線の一方をトランスコアではさみこんでください。トリガを押している指の力を抜きトランスコアを閉じ指示値を読んでください。導線は必ず一本だけをはさんでください。〔図－4〕二本はさむのは誤りです。〔図－3〕

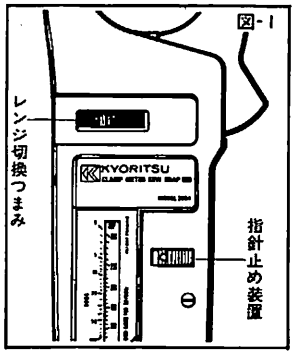


図-1

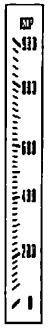


図-2

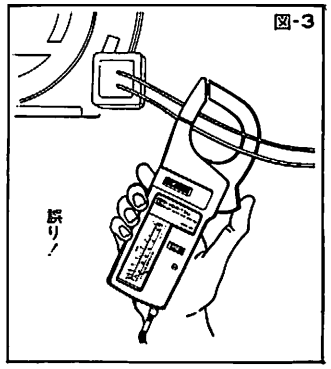


図-3

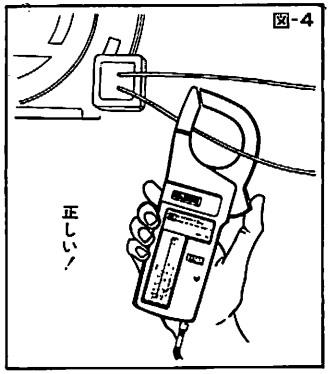


図-4

5. もし、指針の振れがスケールの半分以下でしたらまだ読まないでください。〔図－5〕
6. レンジ切換つまみを次の電流レンジに回し、指針がスケールの半分以上に振れるようになったら読みとってください。〔図－6〕

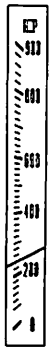


図-5

図-6

電圧測定法　全レンジ赤文字黒スケール

〔注意〕3ページ上部の通りにまずオーム・プローブを取外してください。

1. ＶＯＬＴ端子に赤、ＣＯＭ端子に黒の電圧測定コードを挿入し、ネジ込み固定してください。
2. 「レンジ切換つまみ」を回転させて電圧の最高レンジ、即ち750Ｖのレンジをスケール窓に出してください。
3. 電圧測定コードの赤・黒、いずれか一方を被測定回路の一方につなぎます。次に他方の測定コードで回路の他端に触れてください。〔図－8〕
4. もし指示値が 300Ｖ以下の場合はレンジ切換つまみを回して、300Ｖレンジのスケールを出し、そのスケール上で読みとってください。また、150Ｖ以下の場合は同様な手順で 150Ｖレンジに切換えて指示値を読みとってください。

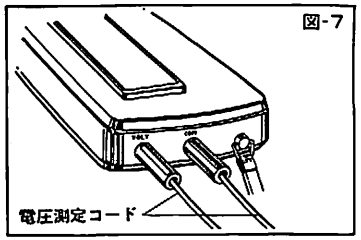


図-7

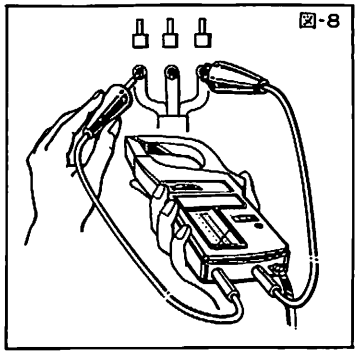


図-8

ゼロ調整
最大の精度を得るために指針は零調ネジにより正しくゼロ位置にセットされていなければなりません。〔図－9〕

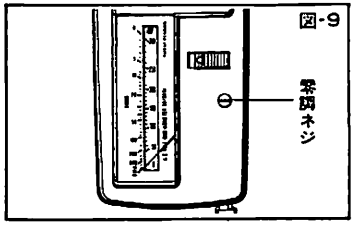


図-9

〔注意〕電圧測定コードは下記の構造になっています。絶縁体の矢印箇所を押すと先端のピンがはずれますので、クリップして測定したい場所はピンをはずしてご使用ください。

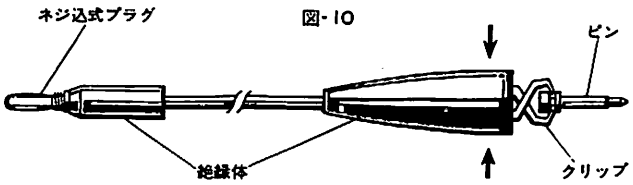


図-10